(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 5月31日

東京都知事 殿

提出者

住 所 東京都新宿区津久戸町2-1

氏 名 株式会社熊谷組首都圏支店 専務執行役員支店長 大野 雅紀

> (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-3260-3299

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	株式会社熊谷組首都圏支店
事	業場の所在地	都内各所(八王子市を除く)
計	画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
当該	亥事業場において現に?	テっている事業に関する事項
	①事業の種類	建設業総合工事業
	②事業の規模	元請完成工事高 1,211 億円(2022年度)
	③従 業 員 数	6 4 4 名 (2023年3月31日現在)
		別添1 処理工程図のとおり
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	

(日本産業規格 A列4番)

産業	É廃棄物の処理に係る ⁹	管理体制に関する事項		
	別添2 管理体制図の	のとおり		
産業	É廃棄物の排出の抑制! 	こ関する事項 T		
		【前年度(令和4年度	E) 実績】 	
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
		排 出 量	40, 046. 30 t	29.40 t
		(これまでに実施し		
	①現状	・実寸発注の実施(オ・余剰材の引取り(オ		
		・梱包材の減少化(廃	ミ プラスチック)	
		・工法の改善(がれき	(類・建設汚泥)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
		排 出 量	36, 041. 70 t	26.50 t
		(今後実施する予定		
	②計画		双組みを実施予定・梱包材 ユニット化の持込み(カ	
		熱帯材代替型枠の使用) I S I S I I I I I I I I I I I I I I I
産業	É廃棄物の分別に関す	る事項		
			廃棄物の種類及び分別に ■業廃棄物の適正分別なと	
	①現状	施。混合廃棄物排出量		.) こるれの推進を美
			に占める混合廃棄物総排	出量 2.0%以下
			の産業廃棄物の種類及び	
	②計画		こめに、廃石膏ボード、廃フ 裁維くず、がれき類、石綿含	
	© µ FI	保管を実施している。		
		居なから改修工事等での)キャスター体小型コンテナ	での少量排出。

自身	っ行う産業廃棄物の再生	生利用に関する事項											
		【前年度(令和4年度)	実績】										
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥									
	OTH 11	自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	- t	- t									
	①現状	(これまでに実施した	取組)										
		【目標】											
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥									
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t									
	②計画	(今後実施する予定の)	取組)	<u> </u>									
自身	<u>┃</u> っ行う産業廃棄物の中┃	<u> </u> 間処理に関する事項											
		【前年度(令和4年度)											
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥									
		自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t									
	①現状	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t									
		(これまでに実施した	取組)										
		【目標】											
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥									
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t									
	②計画	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t									
		(今後実施する予定の	取組)										

自ら行う産業廃棄物の増	型立処分又は海洋投入処分!		
	【前年度(令和4年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	ı	t - t
	(これまでに実施した)	取組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	-	t - t
産業廃棄物の処理の委託	に関する事項		
	【前年度(令和4年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	全処理委託量	40, 046. 30	t 29.40 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	_	t – t
①現状	再生利用業者への 処理 委託 量	40, 046. 30	t 29.40 t
	認定熱回収業者への処理委託量	-	t – t
	認定 窓 で の 熱回収を 行う 者 (これまでに 実施した)		t - t
	(これまでに実施した] ・当社では業者選定方法を社 ・電子マニフェスト対応可能 ・電子契約締結の推進 ・中間処理業者のリサイクル	則にて定めています。 な処理業者から選定	

		(第5面	<u>n</u>)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
		全処理委託量	36, 041. 70 t	26. 50 t
		優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
		再生利用業者への 処理委託量	36,041.70 t	26.50 t
		認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	②計画	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t
		(今後実施する予定の)・電子契約の使用率向上・廃プラスチック類のサクル、ケミカルリサイク	: -ーマルリサイクル以外	- (マテリアルリサイ
※ 事	¥務処理欄			

	廃棄物の		廃油	F 90		廃アルカリ		廃プラスチック類		金属くず
排	出	量		5. 20	t	0.50	t	1, 034. 20	t	265. 4
【目標】										
	廃棄物の)種類	廃油			廃アルカリ		廃プラスチック類		金属くず
)種類 量	廃油	4.70	t		t	廃プラスチック類 930.80	t	金属くず 238.9
産業	廃棄物 ①		廃油	4.70	t		t		t	

			(第3面)-2		
ி நி 1	行う産業廃棄物の再生和				
L	【前年度(令和4年度)	実績】 	1	1	T
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	_
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	_
ら ら	行う産業廃棄物の中間処 【前年度(令和4年度)				
Ī	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	-
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	_
ŀ	【目標】				
L		廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず
ŀ	産業廃棄物の種類	<i>79</i> E1III			
-	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	_

(第4面)-2 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 【前年度(令和4年度)実績】 産業廃棄物の種類 廃油 廃アルカリ 廃プラスチック類 金属くず 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 廃油 廃アルカリ 廃プラスチック類 金属くず 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う t t t t 産業廃棄物の量 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 【前年度(令和4年度)実績】

j	産業廃棄物の種類	廃油			廃アルカリ		廃プラスチック類		金属くず	
í	全処理委託量		5. 20	t	0.50	t	1, 034. 20	t	265. 40	t
	優良認定処理業者 への処理委託量		4. 80	t	0.50	t	995. 00	t	248. 20	t
	再生利用業者への 処理委託量		5. 20	t	0.50	t	1, 034. 20	t	265. 40	t
	認定熱回収業者 への処理委託量		-	t	1	t	-	t	-	t
	認定熱回収美者以 外 の熱回収を行う業 者		_	t	_	t		t	1	t

			(为 0曲) 2					
【目標】								
産業廃棄物の種類	廃油		廃アルカリ		廃プラスチック類		金属くず	
全処理委託量	4. 70	t	0.50	t	930. 80	t	238. 90	t
優良認定処理業者 への処理委託量	4. 30	t	0.50	t	895. 50	t	223. 40	t
再生利用業者への 処理委託量	4.70	t	0.50	t	930. 80	t	238. 90	t
認定熱回収業者 への処理委託量	1	t	-	t	-	t	_	t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	-	t	-	t	-	t	_	t

排	廃棄物⊄ ——— 出	量	ガラス陶磁器等くず 1,980.70 t	コンクリート片 14,723.90 t	;	発アスファルト 3,034.40	t	レンガ破片など 6,080.90
שר		- 生	1, 300. 10	14, 720. 30	<u> </u>	3, 031. 10	·	0, 000. 30
標]								
	廃棄物の)種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	房	発アスファルト		レンガ破片な
目標】 産業 排)種類 量	ガラス陶磁器等くず 1,782.60 t		序	廃アスファルト 2, 731. 00	t	レンガ破片など 5, 472.

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【前年度(令和4年度)実績】 産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト レンガ破片など 自ら再生利用を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト レンガ破片など 自ら再生利用を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和4年度)実績】 産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず レンガ破片など コンクリート片 廃アスファルト 自ら熱回収を行った t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量した産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト レンガ破片など 自ら熱回収を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量する産業廃棄物の量

(第4面)-3 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 【前年度(令和4年度)実績】 産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト レンガ破片など 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量 - t - t - t 産業廃棄物の量

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 乗 物 の 量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】

j	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片		廃アスファルト		レンガ破片など	
1	全処理委託量	1,980.70 t	14, 723. 90	t	3, 034. 40	t	6, 080. 90	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	1,574.00 t	1, 671. 20	t	258. 30	t	1, 758. 80	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,980.70 t	14, 723. 90	t	3, 034. 40	t	6, 080. 90	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	-	t	-	t	-	t
	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	-	t	-	t	-	t

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(勿 0 画) 0		
【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
全処理委託量	1,782.60 t	13,251.50 t	2,731.00 t	5, 472.80 t
優良認定処理業者 への処理委託量	1,416.60 t	1,504.10 t	232.50 t	1, 582. 90 t
再生利用業者への 処理委託量	1,782.60 t	13, 251. 50 t	2,731.00 t	5, 472. 80 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

量	855. 00 t		314.00	t	1, 114. 50	t	0.80
種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず			木くず	繊維くず	
量	769. 50 t	;	282.60	t	1, 003. 10	t	0.70
)種類 量						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【前年度(令和4年度)実績】 産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物 紙くず 木くず 繊維くず 自ら再生利用を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物 紙くず 木くず 繊維くず 自ら再生利用を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和4年度)実績】 繊維くず 産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物 紙くず 木くず 自ら熱回収を行った t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量した産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物 紙くず 木くず 繊維くず 自ら熱回収を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量する産業廃棄物の量

(第4面)-4 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 【前年度(令和4年度)実績】 産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物 紙くず 木くず 繊維くず 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物 紙くず 木くず 繊維くず 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う t t t t 産業廃棄物の量 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 【前年度(令和4年度)実績】 産業廃棄物の種類 紙くず 木くず 繊維くず 石綿含有産業廃棄物 全処理委託量 855.00 314.00 0.80 t 1, 114. 50 t t t 優良認定処理業者 430.70 307.40 t 940.90 0.80 t t t への処理委託量 再生利用業者への

314.00

t

t

t

処理委託量 認定熱回収業者

への処理委託量 認定然回収業者以 外

の熱回収を行う業者

t

t

t

1, 114. 50

t

t

t

0.80

t

t

t

		(分 0曲) 4		
【目標】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
全処理委託量	769.50 t	282.60 t	1,003.10 t	0.70 t
優良認定処理業者 への処理委託量	387.60 t	276.70 t	846.80 t	0.70 t
再生利用業者への 処理委託量	- t	282.60 t	1,003.10 t	0.70 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

【前年周	度(令和	4年度)	実績】						
産業	廃棄物の	種類	建設混合廃棄物		廃蛍光ランプ類		廃電池類		
排	出	量	1, 706. 60	t	0.90	t	0. 50	t	_
【目標】									
【口/示】									
	廃棄物の)種類	建設混合廃棄物		廃蛍光ランプ類		廃電池類		
)種類 量		t		t	廃電池類 0.50	t	-
産業	廃棄物の			t		t		t	_
産業	廃棄物の			t		t		t	_

· / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· 기미) - 메 노 > 국·포	(第3面)-4					
ら行う産業廃棄物の再生 「【***欠廉(今和4.欠席							
【前年度(令和4年度					1		
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	[廃電池類			
自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	-	t	t	_	t	-	
【目標】							
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	į	廃電池類			
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_	t -	t	_	t	_	
	· ·			!			_
行う産業廃棄物の中間							
【前年度(令和4年度	*) 実績】 			T			
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	į	廃電池類			
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		t –	t	_	t	-	
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量		t -	t	_	t	-	
【目標】							
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	į	廃電池類			
自ら熱回収を行う	_	t –	t	_	t	-	
産業廃棄物の量	•						
産業廃棄物の種類自ら熱回収を行う					t		_
産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t -	t	_	t	_	

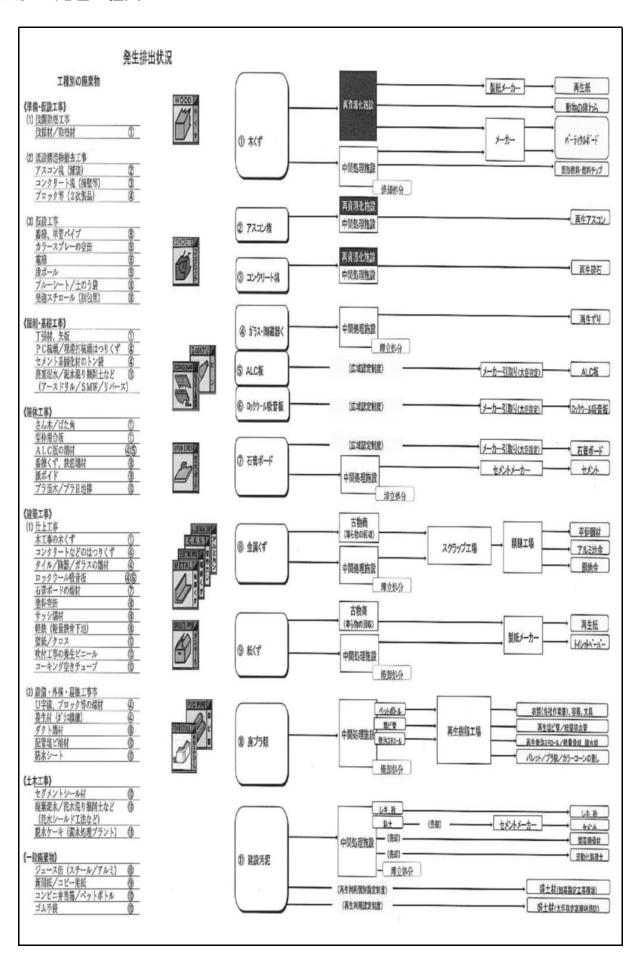
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 【前年度(令和4年度)実績】 産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 廃電池類 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 廃電池類 産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う t t t t 産業廃棄物の量 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 【前年度(令和4年度)実績】 産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 廃電池類 全処理委託量 1, 706. 60 0.90 t 0.50 t t t 優良認定処理業者 0.90 0.50 1, 591. 00 t t t t への処理委託量 再生利用業者への 1, 706. 60 0.90 0.50 t t t t 処理委託量 認定熱回収業者 t t t t への処理委託量 認疋熱凹収美有以 外 t t t t の熱回収を行う業 老

			(弗 5 面) - 4				
【目標】							
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物		廃蛍光ランプ類		廃電池類		
全処理委託量	1, 535. 90	t	0.80 t	5	0.50 t	_	t
優良認定処理業者 への処理委託量	1, 431. 90	t	0.80 t		0.50 t	-	t
再生利用業者への 処理委託量	1, 535. 90	t	0.80 t		0.50 t	-	t
認定熱回収業者 への処理委託量	İ	t	– t		- t	-	t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	_	t	- t	5	- t	_	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添1 処理工程図



別添2 管理体制図

